

ワークショップの実施報告

- 1 日 時：平成 26 年 1 月 25 日（土）10 時～12 時
- 2 参加者：参加者 66 名（欠席 4 名）、子ども・子育て会議委員 11 名、市長を含む市職員 25 名、委託業者 2 名、託児は 4 家庭 8 名（託児ボランティアは 6 名）

所属等（提供者）	人数	所属等（利用者）	人数	計
市立幼稚園職員	7	市立幼稚園保護者	5	12
私立幼稚園職員	7	私立幼稚園保護者	5	12
市立保育所職員	8	市立保育所保護者	3	11
民間保育所職員	9	民間保育所保護者	4	13
認定こども園職員	1	認定こども園保護者	1	2
認可外保育施設職員	4	認可外保育施設利用者	2	6
保育ルーム職員	1	保育ルーム利用者	1	2
		子育て総合センター関連事業利用者	5	5
地域民間子育て支援者	1	地域民間子育て利用者	2	3
提供者参加者小計	38	利用者参加者小計	28	66

- 3 メインテーマ：子育て・子育てしやすい地域をめざして
～西宮市における子ども・子育て支援事業の進め方について～
- 4 各グループのテーマとグループ数：
 どんな子どもに育ててほしいですか？…………… E・Hグループ
 子どもの遊び場はどんな場所？…………… Bグループ
 孤立しない子育て環境（仲間づくり）って？…… A・Cグループ
 子育て情報の入手・提供は？…………… F・Gグループ
 どんな制度や施設があるとよい？…………… Dグループ
- 5 内容：
 - ・新制度についての説明
 - ・グループに分かれての意見交換（60分）
 - ・意見交換の結果発表（各グループ5分、計40分）
 - ・西宮市子ども・子育て会議倉石会長からの講評
 - ・市長あいさつ
- 6 その他：（1）各討議テーマで出た意見、（2）各グループが作成したワークシート、（3）当日配付資料を次ページ以降に添付しています。

*グループインタビューについては、下表のように実施しております。

日 時	場 所	対 象	参加人数	インタビュアー
1月31日(金)	子育て総合センター	2歳児サークル参加者	7名	橋本副会長
2月6日(木)	山口児童センター	小学生	12名	*市長参加
2月14日(金)	武庫川女子大学子育てひろば	利用者	8名	倉石会長

(1) 各討議テーマで出た意見

西宮市の現状	西宮市の理想の姿	理想の姿の実現のために私たちができること	私たちの行動で支援してほしいこと
<p>子育て(子どもの目線)</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼少時から習い事が多い 「いそがしい」 近所に同じ年頃の友だちがいない 異年齢で過ごす時間がない (今は遊び相手が大人 長い異年齢の子ども同志が望ましい) 好きな友だちしか認めない 自分に自信がない 甘えることが大事(「おいで～」と抱きしめられることで、自分の気持ちができる。) <p>子育て(親の目線)</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊ぶ時間&空間がない 安全な遊び場、水遊び場が少ない。 公園でボール遊びができない 小・中学生が公園に沢山いると小さい子が遊びにくい 自然とのふれあいの減少 自然遊びが安全に出来る場、遊びの中で工夫できる自然環境が欲しい 地域になじんで遊べる子に 地域行事に参加する機会が少ない 仕事をしているので参加できない、イベントは平日午前が多い パパ参加型や休日イベントを夢や希望を持っているのか? 野菜嫌い お弁当を皆に発表することで、様々な野菜が入るようになった。 中学まで給食がある 中学まで食育 障害のある子どもへの配慮が少ない 障害児は入所後も多くの悩みがある 障害児の受入の充実が、回りの子どもにも大切という保護者の意見が多い。 気軽に相談できる場が少ない 地域に少ない 共働きで平日に相談する時間がない。 一時保育で困っている親が多い 	<p><こんな子どもになってほしい></p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつや感謝の言葉が言える子ども 返事がすぐぐにできる子 人権 友だちが大好きな子 思いやりがある、人の痛みが分かる、相手の立場になって考えられる子 人間関係 人との関係を大切にすると、人と関わることが楽しい と感じる子 仲間と一緒に育つ子ども 自分のことを、言葉や態度で表現できる子ども のびのびと自分を出せる。自分の思いが言える 自尊心・自分を大切にできる子 生きる力がある子ども 挫折に打ち勝つことができる、失敗を恐れずチャレンジできる 何事も喜びを持って取り組める子 ・人生を楽しめる子 ・よく笑う子 積極的な子 健康で意欲をもって遊べる ・足腰の強い子 生活リズムが整っている 学び 自分で考える力を持つ子 ・気づきができる子 遊びをつくりだす子 <p><地域で子どもを育てる></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人が子どもにも声をかける 子どもも遠からず近からず目を離さない たくさん目の目で子どもをみていく 障害のある子どももきちんと保育できる > 希望する環境 > 保育に欠けていない子どもも集団保育に参加できる 大学の施設の利用が出来れば。 <p><子どもを大切にすると、親も大切にすると ></p> <p>いつでもなんでも相談できる</p>	<p>支援者側は？</p> <ul style="list-style-type: none"> 親の悩みに対する支援 子育て支援情報の一元化 情報発信「こんなことやってみよう」 父親の子育て参加支援 <p>家庭としては？</p> <ul style="list-style-type: none"> わが子を愛する(ありのままでもいい) 子どもと本気で向き合う いろいろな人がいるのが当たり前。子どもの感性を大切に。 子どもの言葉や思いに耳を傾ける。 「こうなってほしい」とマニュアル的に考えたり、他の子どもとも比較しない。 子どもの気持ちを安定させるために 子どもの言葉に置き換える(「抱っこして〜」) 中学生になっても甘えられるようなスキンシップ 	<p>居場所、遊び場の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後に安全に遊べる場、居場所の充実 プレイパーク…人(子ども)が集まれる場 自然環境(遊び場)の充実 公園の整備と定期的な安全点検 人員の確保 相談支援 気軽に相談できる場の充実(休日も含め) 相談に行けない人のための訪問システムの充実 障害のある子どもにも関して気軽に相談できる体制 同じ悩みをもつ人と専門家が集まって話せる場 専門機関と日々の悩みの連携(保わかば園が広げれば) 一時保育の充実 バリアフリー化の充実

どんな子どもに育てたいですか？

子どもの遊び場所はどんな場所？	西宮市の現状	西宮市の理想の姿	理想の姿の実現のために私たちができること	私たちの行動で支援してほしいこと
	<p>子育て(子どもの目線) 死角が多く危険 広くのびのび遊べる場が少ない ・公園やセンターが人でいっぱい ・公園でボール遊びができない(制限されている) ・公園の遊具が少ない 自然が少ない 身近に楽しい所が少ない ・どこかに出かけることが多い 本当は身近がよい 年齢が別の子どもが多い、友だちが少ない ゲームしかない</p> <p><よく利用している遊び場所> 園庭開放(降園後17時迄)、保育終了後の預かり 保育、学校の校庭(放課後)、大学の庭、 近所の公園、団地の公園、休日は広い公園、 (地域の人や)友だちの家、 地域の公民館(お遊び会)、児童館</p> <p>子育て(親の目線) 地域の公園は安全面が心配。(要保護者) 商業施設(スーパの公園)、大型商業施設(ららぽ ーとやガーデンズ)の遊び場 キッズシア、ボートランドなど有料の遊び場 希望は、無料で遊べるところ プール、体操 etc の習い事 3歳児サークル。(どこかに所属しないと不安(入園・ 入所するまでわからない)。知識がない。) 子どもひとりですら任せられる年齢は、親の価値観による</p>	<p>安全 ・安全性を重視した広い公園、広場 ・防犯上安全、周囲の交通量が少なく安全な公園 ・大人の目がある公の施設や場(みやっこキッズパーク)のような管理者がいるプレイパーク) 園・学校開放の充実とアピール(情報を入りやすく) ・入園前の子どもにも園庭開放をしていることを分かりやすく知らせる ・園庭・校庭で安心して遊べることを、アピール ・幼・小の校庭開放の利用を増やす ・学校の放課後開放時間の延長を 親・地域・学校等の連携 ・地域の方に子ども顔を覚えてもらいたい 年齢を問わず遊べる施設 ・カテゴリー分けされず利用できる施設 ・年齢問わず遊べる施設、ゆったり遊べる広場 ・0～3歳児の親子が気軽に行けるところ ・低年齢向けの遊具がある所 ・費用をかけない遊び場所(少し大きくなったら外へ) 広々とした、自然のある遊び場 ・子どもも大人も行きたくない、自然があり広々とした所 ・遊具よりも、木、芝生のある自然豊かな公園 ・のびのび遊べる場所 ・自然にふれあいたいながら遊べる場所 ・ボール遊びができる所(敷地を区切る) 校区内ごとの施設、学校・園の充実 ・校区内に児童館を(今は公民館を活用) ・無料の開放、施設を増やす 親子イベント、目新しい企画 ・休日などに親子で楽しめるイベント、定員を増やす(・ ・父親でも参加しやすいイベント(図書館のイベント等) ・家庭では出来ない経験をさせたい(コンサート、自然体験 etc.) ・決まり切ったサービスでなく、思いきり遊べる環境 ・子どもたちに「こんなことを経験して欲しい」と思った時に提供してくれる場所や企画</p>	<p>支援者側は？ 公共施設の利用には、子ども枠を作 って欲しい 公共施設、大学、学校の開放の促進 ・情報弱者になりやすい子育て家庭を 助けるために、単なる開放でなくイベ ントを行う 遠い場所はダメ 安全面の確保 メールを活用、HP 家庭としては？ 市政ニュースを見る。保存できるように工夫する 口コミ 地域内の活動にも参加する</p>	<p>私たちが行動で支援してほしいこと (年齢、幼保、小学校などの)垣根 をなくす努力をする 施設、スタッフの充実 ・仲介役になる人を増やす ・場づくりのためのバックアップ(費用や人材) 子連れで手軽に行ける遊び場 室内の遊び場を増やして欲しい</p>

西宮市の現状	西宮市の理想の姿	理想の姿の実現のために私たちができること	私たちの行動で支援してほしいこと	
<p>孤立しない子育て環境(仲間づくり)とは？</p>	<p>西宮市の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> * 孤立する理由は様々。年齢や環境の違いで仲良くなるところまで踏み込めない実情もある 子育て(子どもの目線) <ul style="list-style-type: none"> 交流機会の不足 未就園児が徒歩圏内で集まれる児童館、遊び場が少ない 公共施設などの集まれる場所が少ない 幼児教育は充実していると思われ 子育て(親の目線) <ul style="list-style-type: none"> 近所づきあいの不足(あいさつ、周囲の協力) お母さん同士のつきあいが少ない サークルに参加しないと友人ができにくい 仕事をしていると親仲間づくりしにくい、育児サークルに参加しづらい 	<p>西宮市の理想の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の場を広げる。地域の行事を充実 子どもたち交流の場 安全な遊び場(公園や施設)などを増やす 地域ごとでサークルなどを作っていき 地域クラブ的な活動で異年齢、多世代の人との交流(シニアの役割) 親の交流の場 所属に関係のない交流の場 子どもと一緒に参加できる場(預けるのでなく) 同じ子育てのママ同士の交流(同じ年頃の子どもが集まれる場に) 土日でも様々な子育て事業を充実させる 普通の近所づきあひ(子育てにかかわらず) 自ら声をかけていく 保護者と先生との交流 身近で、保護者のことも子どもとも理解している人としっかり話せる環境づくり 先生と何でも話せる環境づくり 交流を支援する、カウンセラー(リーダー) 交流に行っても、結局同じグループで集まってしまうので 情報提供 情報が、もっと、誰にでも届くようにする。目立たせる 1か月健診などの絶対参加の事業の情報を提供 ネットなどを有効活用した情報提供(注意が必要) 様々な人がサークルに参加できるような情報発信 電話相談窓口 	<p>理想の姿の実現のために私たちができること</p> <p>支援者側は？</p> <ul style="list-style-type: none"> 園側から保護者への働きかけ 保育所からの情報提供 保護者同士がつながる声かけ、仲間ができる機会づくり 参加しやすい行事、必ず行かなければいけない行事を仲間づくりのきっかけに 場やテーマを提供し、縛り感のないハードルの低い環境づくり 子育てに関する話をじっくりと聞く場を充実させる 保育所の子育て支援 <p>家庭としては？</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と関わる 積極的に地域に出向くようにする(サークル、公園、地域の行事など) 子育てサークルに参加する 思い切って話しかけてみる まわりの人が声をかけていく 	<p>私たちの行動で支援してほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の充実 土日にも参加できる子育て事業 孤立しやすいママのための子育てのサポート 教育機関が、施設を開放して集まれる場所づくり 市の広報以上に充実した情報づくり 子育て新聞を作ってほしい(公立私立別や施設やサークルや個人などの様々な枠を取り外して、子育てに必要な情報を一元化) 地域ごとの格差をなくす地域づくり 認定子ども園・許可外 について保護者は理解していないことが多い 「子育て支援してます！」ということだけがクローズアップされていて、本当に、子ども・保護者の為になっているのか？

	西宮市の現状	西宮市の理想の姿	理想の姿の実現のために私たちができること	私たちの行動で支援してほしいこと
<h2>子育て情報の入手提供は？</h2>	<p>子育て(子どもの目線)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験を通して ・遊びの中から個性を知る ・おもちゃ ・ボスター(興味をひきやすい、住んでいる地域の情報) ・掲示板 ・プリント <p>子育て(親の目線)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入手…積極的 ・口コミ(友だち、保護者同士、地域の子育て仲間や先輩 身近な情報) ・親子(子育て)サークル ・福祉サービス機関、児童センター、療育施設などの支援施設 ・インターネット、市のHP、施設(あおぞら館、キッズパークなど)個別のHP 情報が新しい) ・テレビ ・書籍 ・提供…受け身 ・懇談、日々の伝えあい(保育士 目の前の子どもの状況をよく分かってくれている) ・保育所、幼稚園や学校のおたより(イベントや子育て情報) ・公の場(幼稚園・保育所・小学校、子育てセンター、市役所等)での情報 ・各園、各機関のパンフレット ・市政ニュースなど行政の案内 ・子どもと行く(場(キッズパーク、公民館、子育てセンター、ウェーブ etc)での配布物(子育てネットワーク通信、プレイパークのチラシなど)や掲示物 情報弱者 ・どこかへ出向いたり調べたり出来ない人には全く情報がいかない(欲しい人に伝えられない) ・どこから情報を得て良いのか分からない人もいる ・ママ同士で聞きにくいこと…who? 孤立 ・周囲に聞ける人がいない インターネットにたよりすぎる 	<p>よく行く所(子育て施設、スーパーなど)に情報を ・情報を見やすい所に出す(スーパーetc.の掲示版など)</p> <p>・西宮子育て情報誌 この保育所・幼稚園にも置いて欲しい。手にとりやすいところ</p> <p>・情報を、身近に、より多く出す</p> <p>子どもの年齢に合わせた分かりやすい情報発信 (生活スタイルもふくめて)</p> <p>・子どもが小さいうちは行動範囲に限られる 子どもも年齢にあった情報</p> <p>・子どもが見て、楽しい所と思えるようなボスターづくり</p> <p>子育てについて気軽に相談できる場での情報提供</p> <p>人と人とのつながり、ネットワーク</p> <p>・声をかけあう。「あいさつ」が響く街</p> <p>・子育て友だちづくり、保護者同士のコミュニケーション(ただし、うまくできる人と出来ない人がいる)</p> <p>・男性のコミュニケーション</p> <p>・異年齢のつながり</p> <p>・地域性コミュニティの緩和と確保(ex. 子ども会 今後は保護者のボランティアで全ては難しい。地域の高齢者による有償ボランティア)</p> <p>・保育所や幼稚園の先生とのコミュニケーション うまくできれば良いサポートが得られる</p> <p>・人がつながる場所づくり</p> <p>垣根(ハードル)の低い、まち・園・機関 情報開かれた園(施設)づくり</p> <p>・顔の見えの連携</p> <p>・横断的 + 縦断的な支援</p> <p>・支援の必要なひとりの子に対して施設・園等必要な機関をすべてつなぐパイプ役(ケアマネジャー的な存在の人)</p> <p>全ての情報をまとめて見られる、知ることができるのがあればいい!</p>	<p>支援者側は？</p> <p>安心・安全づくり</p> <p>受信・地域性を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者がひとりではないように 知らない、知っていても来づらい人への支援 ・保護者同士をつなげていく、話せる環境づくり。 ・働いていない保護者が積極的に他者と交流するには？働いていない保護者にも十分な情報提供をするには？ ・仕事をしている人も、友だちを作りやすいところを ・地域の子育てでサロンの充実、市から広める。年齢上限なく相談しやすいように(経験者からの話が聞ける) 発信・分かりやすい情報提供 ・どんな人がどんなことをしているのか 分かりやすく ・楽しい情報だけでなく発達相談が出来る場所を知らせる(入園までのサポートなど) 専門機関・関係機関の連携 ・児童相談の場所を分かりやすく知らせる(あっても知らない) ・出産院でフォロー 相談しやすい 支援者の拡大 <p>家庭としては？</p> <p>子ども地域団体に参加</p> <p>情報の積極的利用</p> <p>「みんなで子育て」の意識</p>	<p>顔の見える街(地域)づくり</p> <p>市の方から全てのスーパーなどに情報を置いて欲しい</p> <p>土日も相談会を聞いて欲しい</p> <p>気軽にに行ける子育てサロン等の充実</p> <p>見学に行くまで保育所、園のことを知らない 開放だけでなく気軽にに行ける日を多くして</p> <p>情報の整理・見やすい情報。一覽でわかる情報のHP</p> <p>支援する側の情報も示して欲しい</p> <p>保育士の負担が増すので保育士のサポートを充実</p> <p>適切な情報精査と「発信」 伝達機能</p> <p>安心・安全につなげる</p>

どんな制度や施設があるとよい？	西宮市の現状	西宮市の理想の姿	理想の姿の実現のために私たちができること	私たちの行動で支援してほしいこと
	<p>子育て(子どもの目線)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全が不安 車や自転車が多く子どもだけでは危ない 子どもが安全に思いっきり遊べるや雨天でも遊べる場所が少ない 子どもを連れて行ける場所が整備されていない(道路、交通機関など) 習いごとが多々 <p>子育て(親の目線)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども同士、親同士の交流 隣近所に仲良しがいない。近くに同年代の人がいるかどうか分からない 親で遊べる場所がほしい 保育所、幼稚園 働きたくても保育所に入れられない。働きながら幼稚園に入れにくい 幼稚園が減少 地域によって幼稚園に差がある 認可保育所でも公私の差がありすぎる 小学校への連携が不足 <p>子育てニーズに合うものが不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て施設の広さや大人の援助が不足 土日に預けられる場所がない 身近に子育ての悩みを相談して解決に結びつけることが少ない 支援者の力量が足りない 子育て支援者へのサポート(人、予算)が少ない。 子育て支援事業を知らない。あっても参加しにくい雰囲気がある。孤立した親への支援が少ない 様々な新しい形の障害をもつ子どもへの援助、体制が不足している 病児保育 病児保育が少ない。あっても知らない。突然の発熱などの病児に対する制度が少ない 子どもが病気になったときに仕事を休める雰囲気がない 夜間や休日の医療体制が不安 	<p>子育てニーズに合った施設、体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 病児保育 熱があっても保育所に預けやすい体制 病気や休日でも子どもを預けられる施設の増加 気軽に利用できる一時預かり 働きながらでも安心して子どもを預けられる環境づくり 子どもへの接し方、遊び方を学べる場 安全な遊び場 砂場や遊具が安全な公園 サッカーや野球、ボール遊びができる広場 子どもだけで安心して遊べる場 それぞれの年齢に応じて子どもが思いっきり遊べる場(泥んこ遊び、ボール投げなど) 施設や道路のバリアフリー 安全な道路(整備、マナー) <p>「お互いを応援する」ことが市民の共通の思いにトライできる</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分を伸ばせる、自己実現できる 気軽に声をかけ合える <p>子どもがすべてに優先される地域に</p> <p>「子どもにふさわしい社会・地域に」</p>	<p>支援者側は？</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信 <p>家庭としては？</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いを応援する 声かけ お互いに認め合う 情報の共有 積極的に意見を言う 	<p>子ども目線や親目線の現実的なサポート</p> <p>情報の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て情報の一元化(子育て情報センター 民間委託、コーディネート) 地域の中で、子育てに関係する団体や個人が連携できるような情報発信(幼稚園や小学校以外も含めて) 情報の宣伝を活発に 保育所、幼稚園の充実 幼稚園数を増やす 待機児童の解消、一時預かり保育の枠の増加 <p>様々な保護者に対する支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方を自由にする(保育所に入れる/入れない、育児休暇期間を自分で決められる) 声を出せない人にもサポートできる柔軟な制度運用 幼児から学生までトータルなサービス

テーマ	どんな子どもに育てたいですか？	Hグループ
-----	------------------------	-------

今の西宮ってどんな状況？ (自由に)

子育て(子どもの目線)

- ・小さい時から習い事が多い。
- ・子どもが「いそがしい」
- ・近所に同じ年頃の友達がいらない
- ・好きな友達しか認めない
- ・異年齢で過ごす時間がない
- ・自分に自信がない

子育て(親の目線)

- ・遊ぶ時間 & 空間がない。
- ・遊び場がない
- ・水遊び場が少ない(ない)
- ・小さい子供が外でのびのびと遊べていない？
- ・小学生や中学生が公園に沢山いると小さい子が遊びにくい
- ・自然とのふれあいの減少
- ・自然遊びが安全に出来る場所が欲しい
- ・子どもが遊びの中で工夫できる自然環境が欲しい
- ・キッズパークはあるが、近場がない(公園くらいしか…)
- ・夢や希望を持っているのか？
- ・一時保育で困っている親が多い
- ・地域になじんで遊べる子に
- ・地域行事に参加する機会が少ない
- ・近所づきあいが大事だが、仕事をしているので中々参加できない
- ・地域のコミュニティをもっと増やして欲しい。イベントは平日午前が多いが、その時間は忙しい。
- ・父子の関係 地域の人とのコミュニティの場 地域とのつながり
- ・パパ参加イベントや休日イベント(ex.「おじいさんと遊ぼう」男性のみ)
- ・昔は子供同士で遊んでいたが、今は遊び相手が大人になっている。長い異年齢が望ましい。

こんな西宮になってほしい(想い) 。その姿は？

(テーマに添って考えましょう)

希望・・・環境

- ・保育に欠けていない子どもも集団保育に参加できる
- ・大学の施設の利用が出来れば・・・

人権

- ・自尊心
- ・自分を大切にできる子

- ・友達が大好きな子
- ・思いやりがある子
- ・相手の立場になって考えられる子
- ・返事がすぐにできる子

人間関係

- ・人と関わることが楽しいと感じられる子
- ・人との関係を大切にする子

学び

- ・自分で考える力を持つ子
- ・気づきができる子
- ・遊びをつくりだす子

他

- ・人生を楽しめる子
- ・よく笑う子
- ・何事も喜びを持って取り組める子
- ・積極的な子
- ・足腰の強い子

その姿の実現のために私たちができること

(支援者側は？)

- 子育て支援情報の一元化
- 情報発信「こんなことやってますよ」
- 父親の子育て参加支援

(家庭としては？)

- わが子を愛する(ありのままでもいいんやで！)

私たちの行動で支援してほしいこと

人員の確保

- プレイパーク・・・人(子ども)が集まれる場
- 自然環境(遊び場)の充実

- 考える力
- いろんな積み重ね
- 人的環境・物的環境

どんな子どもに育ってほしいですか？

今の西宮ってどんな状況？

(自由に)

子育て(子どもの目線)

- 甘えることが大事 ・「おいで～」と抱きしめられることで、自分の気持ちが言える
- 安全な遊び場が少ない ・公園でボール遊びができない

子育て(親の目線)

- 野菜嫌い
 - ・お弁当でみんなに発表することで、様々な野菜が入るようになった
 - ・西宮市は、中学まで給食があるので、食育が中学まで届く
- 障害のある子どもへの配慮が少ない
 - ・障害のある子どもの受入の充実が、回りの子どもにも大切という保護者の意見が多い
 - ・障害のある子どもは入所した後もたくさん悩みがある
- 気軽に相談できる場が少ない
 - ・地域に少ない ・共働きなので平日に相談する時間がない

こんな西宮になってほしい(想い) 。その姿は？

(テーマに添って考えましょう)

子どもを大切にする

<こんな子どもになってほしい>

- あいさつや感謝の言葉が言える子ども
 - ・人の痛みが分かる。思いやりがある
 - ・自分のことと共に、相手、回りのことに気づく
- 自分のことを、言葉や態度で表現できる子ども
 - ・のびのびと自分を出せる。自分の思いが言える
- 生きる力がある子ども
 - ・挫折に打ち勝つことができる
 - ・何でも失敗を恐れずチャレンジできる
 - ・健康で意欲をもって遊べる
 - ・仲間と一緒に育つ子ども
 - ・生活リズムが整っている

<地域で子どもを育てる>

- ・地域の人が子どもに声かけする
- ・子どもから遠からず近からず目を離さない
- ・たくさんの目で子どもをみていく
- ・障害のある子どももきちんと保育できる

親も大切にする

いつでもなんでも相談できる

その姿の実現のために私たちができること

(支援者側は？)

親の悩みに対する支援

(家庭としては？)

- 子どもと本気で向き合う
 - ・いろんな人がいるのが当たり前。子どもの感性を大切に
 - ・子どもの言葉や思いに耳を傾ける。
 - ・「こうなってほしい」とマニュアルで考えたり、他の子どもと比較しない。
 - ・子どもの気持ちを安定させるために子どもの言葉に置き換える(「抱っこして～」)
 - ・中学生になっても甘えられるようなスキンシップ

私たちの行動で支援してほしいこと

相談支援

- ・気軽に相談できる場の充実(休日も含め)
- ・相談に行けない人のための訪問システムの充実
- ・障害のある子どもに関して気軽に相談できる体制
- ・同じ悩みをもつ人と専門家が集まって話せる場
- ・専門機関と日々の悩みの連携(保 わかば園が広がれば 一時保育の充実)

バリアフリー化の充実

遊び場の充実

- ・放課後に安全に遊べる場、居場所の充実
- ・公園の整備と定期的な安全点検

子どもの遊び場所はどんな場所？

今の西宮ってどんな状況？（自由に）

子育て(子どもの目線)

- ・公園やセンターが人でいっぱい。年齢が別の子どもが多い。 ・死角が多く危険。楽しい所が少ない。
- ・広くない ・自然が少ない ・友達が少ない
- ・ゲーム、これしかない。
- ・公園でボール遊びができない(制限されている) ・どこかに出かけることが多い 本当は身近がよい。

よく利用している遊び場: 園庭開放(降園後 17 時迄)、保育終了後のあずかり保育、学校の校庭(放課後)、大学の庭、近所の公園、団地の公園、休日は広い公園
(地域の人や)友達の家(近くに同世代の子どもが多い)、地域の公民館(お遊び会)、児童館

子育て(親の目線)

- ・地域の公園 親つき。安全面が心配。
- ・ プール、体操 etc の習い事
- ・3 歳児サークル。どこかに所属しないと不安(入園・入所するまでわからない)。知識がない。
- ・キッズニア、ボーンランドなど有料の遊び場 無料がいい。
- ・商業施設(スーパーの公園)、大型商業施設(ららぽーとやガーデンズ)の遊び場
- ・子どもひとりで任せられる年齢は、親の価値観による。

こんな西宮になってほしい(想い) 。その姿は？

安全

- ・交通量が少なく、危険でない公園
- ・安全性を重視した広い公園、広場
- ・大人の目がある公の施設や場
- ・みやこキッズパークのような管理者がいるプレイパーク
- ・防犯上安全に遊べる場所

情報の入りやすさ

- ・入園前の子どもにも園庭開放をしていることを分かりやすくする。
- ・園庭・校庭で遊びやすいと感じる情報
- ・園庭で安心して遊べることを、もっとアピールする
- ・幼・小の校庭開放の利用を増やす
- ・学校の放課後開放時間を延ばして欲しい。

親・地域・学校等の連携

- ・幼稚園児でも地域の方に顔を覚えてもらいたい

年齢を問わず遊べる

- ・カテゴリー分けされず利用できる施設
- ・年齢上下問わず、ゆるやかな遊び遊べる場所、どの年齢の子もくつろげる広場、年齢を問わず遊べる施設
- ・就学、就園前(0～3歳)の親子が気軽に行けるところ
- ・低年齢向けの遊具がある

広々した、自然のある遊び場

- ・子どもも大人も行きたくなる、自然を残した広々としたところ。
- ・子どもたちがのびのび遊べる場所
- ・遊具よりも、木や土がある公園
- ・木、芝生のある自然豊かな公園
- ・ボール遊びができる(敷地が区切られている)

校区内ごとの施設、学校・園の充実

- ・児童館(今は校区内にないので、公民館を活用)
- ・<無料>の開放、施設を増やす
- ・休日などに親子で楽しめるイベントを増やす(定員)
- ・働く親でも参加しやすいイベント(図書館のイベント等)
- ・家庭では出来ない経験をさせたい。(コンサート、自然体験 etc.)

その姿の実現のために私たちができること

(支援者側は？)

- 公共施設の利用は子ども枠を作って欲しい
- 公共施設、大学、学校の開放を促進して欲しい
- 情報弱者**になりやすい子育て家庭を助ける
- 単なる開放にしない。イベントを行う。

- 遠い場所はダメ
- 安全面の確保
- メールの活用、HP

(家庭としては？)

- 市政ニュースを見る！保存できるように工夫する
- 口コミ
- 地域内の活動にも参加する

私たちの行動で支援してほしいこと

- 垣根をなくす努力をする (年齢、幼保、小学校など)
- 施設、スタッフの充実
- 仲介役になる人を増やす

孤立しない子育て環境(仲間づくり)って？

今の西宮ってどんな状況？ (自由に)

子育て(子どもの目線)

子どもの 交流の場

- ・遊び場(公園)などを増やす 交流場所
- ・親子で安全に利用できる公園・施設の設備
- ・地域ごとにサークルなどを作っていく。
- ・子どもたちの地域クラブ的な活動(縦割りの活動) シニアの役割
- ・異年齢、いろいろな世代の人との交流
- ・幼児教育は、公私ともに充実していると思う。

子育て(親の目線)

大人の 交流の場

- ・普通の近所づきあい(子育てにかかわらず) ・自ら声をかけていく ・なんでも話せる環境、状況
- ・保護者の親睦の会 ・同じ子育て中のママ同士の交流 同い年頃の子どもが集まれる場
- ・異種交流

- ・仕事を持っていると親として仲間づくりしにくい
- ・電話相談窓口 ・ネットなどの有効な活用(注意が必要)

こんな西宮になってほしい(想い) 。その姿は？

(テーマに添って考えましょう)

親の交流の場

- ・所属に関係のない交流の場
- ・地域の場を広げる
- ・子どもと共に・・・(預けて交流するのではなく)

安全な遊び場づくり

交流へ行っても、結局同じグループで集まってしまう
 カウンセラー(リーダー)のような人がつくのが
 良いのでは？

その姿の実現のために私たちができること

(支援者側は？)

- 園側から保護者への声かけ
- ・保育所からの情報提供
- ・保護者同士がつながる声かけをしていく
- 子育てに関する話をじっくりと聞く場を充実させる
- 保育所の子育て支援活動

(家庭としては？)

まわりの人が声をかけていく

私たちの行動で支援してほしいこと

認定こども園・許可外 について施設側は分かっているけど、保護者は理解していないことも多い。

「子育て支援してます！」ということだけがクローズアップされていて、本当に、子ども・保護者の為になっているのか？

孤立しない子育て環境(仲間づくり)って？

今の西宮ってどんな状況？（自由に）

子育て(子どもの目線)

交流機会の不足

- ・未就園児が徒歩圏内で集まれる児童館、遊び場が少ない。
- ・公共施設などの集まれる場所が少ない。
- ・公園の遊具が少ない。

孤立する理由は様々。年齢や環境の違いで仲良くなるところまで踏み込めない実情もある。

子育て(親の目線)

交流機会の不足

- ・近所づきあいの不足(あいさつ、周囲の協力)
- ・お母さん同士のつきあいが少ない。
- ・仕事をしていると育児サークルに参加しづらい。
- ・サークルに参加しないと友人ができてにくい。

こんな西宮になってほしい(想い)。その姿は？

(テーマに添って考えましょう)

交流の場の充実

- ・地域の行事、サークル活動、公園などの施設などが充実している。
- ・土日にも様々な子育て事業が充実している。

保護者と先生との交流

- ・身近で、保護者のことも子どものことも理解している人としっかり話せる環境づくり
- ・先生と何でも話せる環境がある。

情報提供

- ・情報が、もっと、誰にでも届くようになっている。
- ・情報を目立つように。
- ・1か月健診などの絶対参加の事業の情報を提供してもらえる。
- ・ネットを活用した情報提供
- ・様々な人がサークルに参加できるような情報発信

その姿の実現のために私たちができること

(支援者側は？)

積極的な働きかけ

- ・幼稚園、保育所が機会づくりと仲間づくりにつながる働きかけをしていく。
- ・参加しやすい行事、必ず行かなければいけない行事を仲間づくりのきっかけに。
- ・場やテーマを提供し、縛り感のないハードルの低い環境づくり

(家庭としては？)

地域と関わる

- ・積極的に地域に出向くようにする(サークル、公園、地域の行事など)。
- ・子育てサークルに参加する。
- ・思い切って話しかけてみる。

私たちの行動で支援してほしいこと

子育て支援の充実

- ・土日にも参加できる子育て事業
- ・孤立しやすいママのための子育てのサポート
- ・教育機関が施設を開放し、集まれる場所づくりを。市の広報以上に充実した情報づくり
- ・子育て新聞を作ってほしい(公立や施設、施設やサークルや個人などの様々な枠を取り外して、子育てに必要な情報を1つにまとめたもの)。
- ・地域ごとの格差をなくす地域づくり

子育て情報の入手・提供は？

今の西宮ってどんな状況？（自由に）

子育て(子どもの目線)

- ・経験を通して
- ・遊びの中から個性を知る
- ・おもちゃ
- ・掲示板
- ・プリント

子育て(親の目線)

・ひとつの窓口に行けば総合的に子育てのアドバイスを受けられる



・どこかへ出向いたり調べたり出来ない人には全く情報がいかない(欲しい人に伝えられない)
 ・どこから情報を得て良いのか分からない人もいる
 ・ママ同士で聞きにくいこと・・・who? 孤立

<入手>・・・ 積極的

- ・友達
- ・保護者同士
- ・地域の子育て仲間(先輩からの口コミ)
- ・親子(子育て)サークル等の支援施設
- ・福祉サービス(機関)
- ・児童センターなどの支援施設
- ・療育施設わかば
- ・インターネット、施設個別のHP
- ・テレビ
- ・書籍

<提供>・・・ 受け身

- ・懇談、日々の伝えあい
- ・幼稚園や学校のおたより
- ・公の場(幼稚園・保育所・小学校、子育てセンター、市役所等)
- ・子育て広場的なところにある、チラシや掲示
- ・各園、各機関のパンフレット
- ・市政ニュースなど行政の案内

こんな西宮になってほしい(想い)。その姿は？

(テーマに添って考えましょう)

人のつながり

- ・声をかけあう。「あいさつ」が響く街
- ・子育て友達づくり
- ・男性のコミュニティ
- ・異年齢のつながり
- ・地域性コミュニティの緩和と確保(ex.子ども会 時代背景が変わってきている中、ボランティアで全ては難しい。地域の安心できる高齢者による有償ボランティア)
- ・(人がつながる)場所『空間づくり』

垣根(ハードル)の低い、まち・園・機関 情報

- ・開かれた園(施設)づくり
- ・顔の見える連携
- ・横断的+縦断的な支援
- ・支援の必要なひとりの子に対して施設・園等必要な機関をすべてつなぐパイプ役(ケアマネジャー的な存在の人)

その姿の実現のために私たちができること

(支援者側は？)

- 受信: 地域性を高める
- 発信: 分かりやすい情報提供
- 専門機関・関係機関(連携)



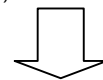
安心・安全

(家庭としては？)

- 子どもの地域団体に参加
- (情報の)積極的利用

私たちの行動で支援してほしいこと

- 適切な情報精査と『発信』 伝達機能
- 場のためのバックアップ
- 費用？
- 人材(財)？



顔の見える街(地域)づくり

子育て情報の入手・提供は？

今の西宮ってどんな状況？（自由に）

子育て(子どもの目線)

- ・ポスター：興味がひかれやすい。住んでいる地域情報。出入りする所、目につく所に貼ってもらっている。

子どもが見て楽しい所と思えるようなポスター

子育て(親の目線)

- ・口コミ(保護者同士の話など)がとても強い。近所のママさんたち:身近な情報を教えてもらえる
- ・保育士:目の前の子どもの状況をよく分かってくれている
- ・保育所(認可外)からのお知らせ:イベント、子育て相談など目に留まりやすい。
- ・子どもと行く場(キッズパーク、公民館、子育てセンター、ウェブ(男女共同参画センター)etc)での配布物:子育てネットワーク通信、プレイパークのちらしなど

チラシ等を配布できる情報を手に入れやすい場所

子どもが小さいうちは行動範囲が限られる子どもの年齢にあった情報

- ・市政ニュース:誰にでも手に入りやすい。・市のホームページ:情報が新しい

- ・園のHP・あおぞら館やキッズパークのHP

印刷物より新しい情報提供。来てもらうことで良く知ってもらえる

- ・周囲に聞ける人がいない場合も多い・インターネットに頼りすぎる・親の動き次第(情報誌など見ないと…)

全ての情報をまとめて見れる、知れるものがあれば…

こんな西宮になってほしい(想い)。その姿は？

(テーマに添って考えましょう)

- よく行く所(スーパーなど)に情報を
- ・情報を見やすい所に出す(買い物に行く所の掲示板、普段よく行くスーパーetc.)
- ・西宮子育て情報誌 どの保育所・幼稚園にも置いて欲しい。手にとりやすいところ
- ・情報が身近にあるように・情報をより出していく
- 子どもの年齢に合わせた分かりやすい情報発信(生活スタイルもふくめて)
- 子育てについて気軽に相談できる場による情報提供
- 人と人とのネットワーク
- ・保育所や幼稚園の先生とのコミュニケーション
- うまくできれば良いサポートが得られる。
- ・保護者同士のコミュニケーション(うまくできる人と出来ない人がいる)
- 子育てしやすい西宮市に
- ・子どもの遊び場(公園・児童館)の充実
- ・決まり切ったサービスでなく、思いきり遊べる環境
- ・費用をかけない遊び場所(少し大きくなったら外へ)
- ・自然にふれないながら遊べる公園が欲しい。
- ・子どもたちに「こんなことを経験して欲しい」と思った時に提供してくれる場所や企画。

その姿の実現のために私たちができること

(支援者側は？)

- ・保護者がひとりで悩まないように。知らない、知っていても来づらい人への支援。保護者同士をつなげていく。話せる環境を作っていく。
- ・どんな人がどんなことをされているのかよく分からない提供されている方の広め方。出す側も使いやすいように
- ・児童相談の場所を分かりやすく知らせる(あっても知らない)
- ・働いていない保護者が積極的に他者と交流するには？働いていない保護者にも十分な情報提供をするには？
- ・仕事をしている人も、友達を作りやすいところを。
- ・地域の子育てサロンの充実。市から広める。歳など上限なく相談しやすいように(経験者からの話)
- ・楽しいものだけでなく発達の相談が出来る場所を知らせる(入園までのサポートなど)
- ・出産院でフォロー 相談しやすい
- ・支援者の拡大

(家庭としては？)「みんなで子育て」の意識

私たちの行動で支援してほしいこと

- 市の方から全てのスーパーなどに情報を置いて欲しい
- 土日相談会を聞いて欲しい。
- 気軽に行ける子育てサロン等の充実
- 情報の整理:見やすい情報。一覧でわかる情報のHP
- 援助して欲しいが支援する側の情報も示して欲しい。
- 保育士が大変になるので保育士のサポートを充実
- 子ども連れで手軽に行ける遊び場、室内の遊び場を増やして欲しい。
- 見学に行くまで保育所、園を知らない 開放だけでなく気軽に見に行ける日を多くして。

どんな制度や施設があるとよい？

今の西宮ってどんな状況？（自由に）

子育て(子どもの目線)

安全が不安

- ・車や自転車が子どもだけでは危ない。 ・子どもが安全に思いっきり遊べるや雨天でも遊べる場所が少ない。
- ・子どもを連れて行ける場所が整備されていない(道路、交通機関など)
- 習いごとが多く多忙？

子育て(親の目線)

子ども同士、親同士の交流

- ・隣近所に仲良しがいない。近くに同年代の人がいるかどうか分からない。 ・親子で遊べる場所がほしい。

保育所、幼稚園

- ・働きたくても保育所に入れられない。 ・働きながら幼稚園に入れにくい ・幼稚園も減っている。
- ・同じ認可保育所でも公私の差がありすぎるところがある。 ・地域によって幼稚園に差がある。 ・小学校への連携が不足

子育てニーズに合うものが不足

- ・子育て施設の広さや大人の援助が不足。 ・土日に預けられる場所がない。
- ・身近に子育ての悩みを相談して解決に結びつけることが少ない。
- ・支援者の力量が足りない。 ・子育て支援者へのサポート(人、予算)が少ない。
- ・子育て支援事業を知らない。あっても参加しにくい雰囲気がある。 孤立した親への支援が少ない。
- ・様々な新しい形の障害をもつ子どもへの援助、体制が不足している。

病児保育

- ・病児保育が少ない、あっても知らない。 突然の発熱などの病児に対する制度が少ない。
- ・子どもが病気になるときに仕事を休める雰囲気がない。
- ・夜間や休日の医療体制が不安。

こんな西宮になってほしい(想い) 。その姿は？

(テーマに添って考えましょう)

子育てニーズに合った施設、体制

- ・病児保育
- ・熱があっても保育所に預けやすい体制
- ・病気や休日でも子どもを預けられる施設の増加
- ・気軽に利用できる一時預かり
- ・働きながらも安心して子どもを預けられる環境づくり
- ・子どもへの接し方、遊び方を学べる場

安全な遊び場

- ・砂場や遊具が安全な公園
- ・サッカーや野球、ボール遊びができる広場
- ・子どもだけで安心して遊べる場
- ・それぞれの年齢に応じて子どもが思いっきり遊べる場
(泥んこ遊び、ボール投げなど)
- ・施設や道路のバリアフリー
- ・安全な道路(整備、マナー)

「お互いを応援する」ことが市民の共通の思いとしてある

- ・トライできる
- ・自分を伸ばせる、自己実現できる
- ・気軽に声をかけ合える

子どもがすべてに優先される地域に
「子どもにふさわしい社会・地域に」

その姿の実現のために私たちができること

(支援者側は？)

積極的な情報発信

(家庭としては？)

- お互いを応援する
- ・声かけ
- ・お互いに認め合う
- ・情報の共有
- ・積極的に意見を言う

私たちの行動で支援してほしいこと

子ども目線や親目線の現実的なサポート

情報の整備

- ・子育て情報の一元化
(子育て情報センター 民間委託、コーディネーター)
- ・地域の中で、子育てに関係する団体や個人が連携できる
ような情報発信(幼稚園や小学校以外も含めて)
- ・情報の宣伝を活発に

保育所、幼稚園の充実

- ・幼稚園数を増やす
- ・待機児童の解消、一時預かり保育の枠の増加

様々な保護者に対する支援の充実

- ・働き方を自由に選べる(保育所に入れる/入れない、育児
休暇期間を自分で決められる)
- ・声を出せない人にもサポートできる柔軟な制度運用
- ・幼児から学生までトータルなサービス

(3) 当日配付資料

西宮市子ども・子育て支援事業計画作成に係るワークショップ

平成 26 年 1 月 25 日 (土)

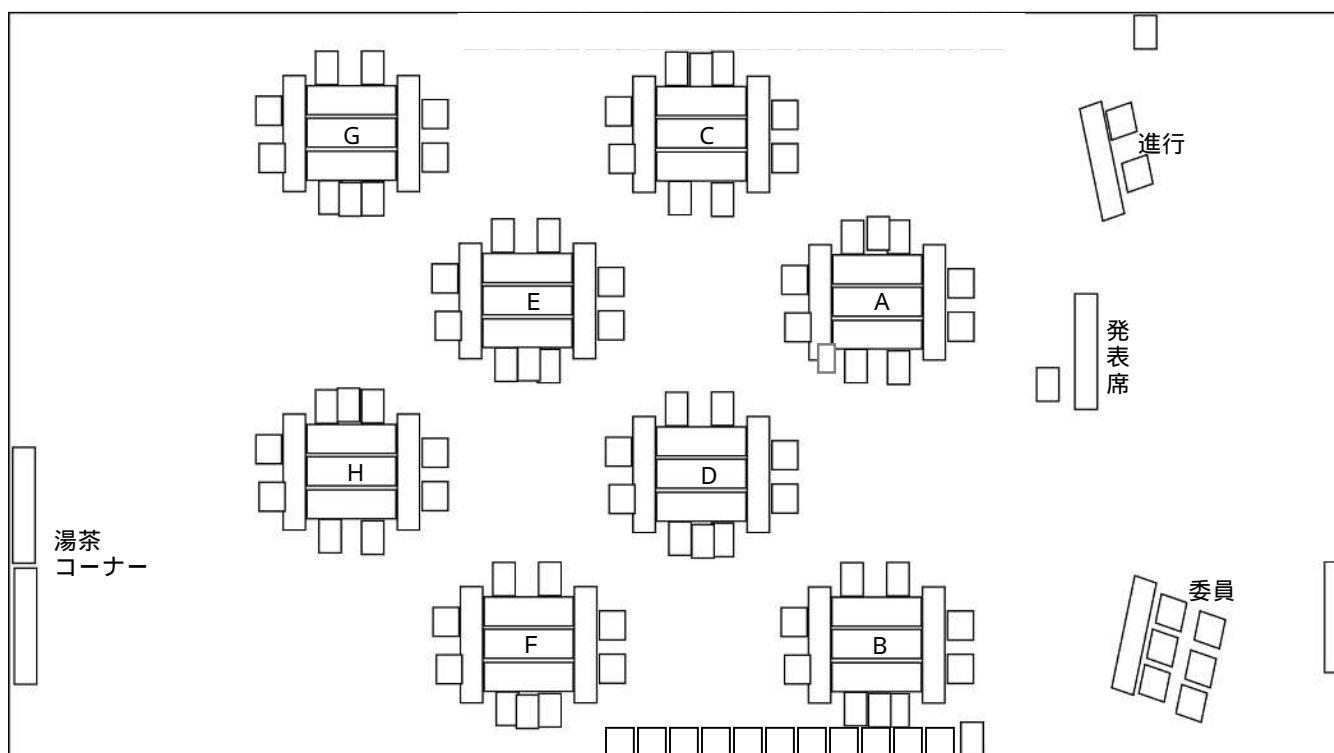
10:00 ~ 12:00

次 第

1. 開会
2. あいさつと新制度についての説明 (5分)
3. 本日の進め方等の説明 (5分)
4. グループに分かれての意見交換 (60分)
5. 意見交換の結果発表 (各グループ4分、計32分)
6. 西宮市子ども・子育て会議倉石会長からの講評 (5分)
7. 市長あいさつ (3分)
8. 閉会



会場図



ワークショップの進め方

テーマ 子育て・子育てしやすい地域をめざして

～西宮市における子ども・子育て支援事業の進め方について～

グループ討議の課題

- ・どんな子どもに育ててほしいですか？
- ・子どもの遊び場はどんな場所？
- ・孤立しない子育て環境（仲間づくり）って？
- ・子育て情報の入手・提供は？
- ・どんな制度や施設があるとよい？

具体的な進め方

ステップ1

グループごとに自己紹介をします。その後、進行役、書記、発表者を決めます

ステップ2

グループごとに話し合いの課題(上記の中から1つ)を決めます

ステップ3

選んだ課題についてよく考えて、どんなことでも結構ですので、お手元の付箋紙に、思いついた意見を書き出してください。(5分程度で) 1枚の付箋には1つの意見を書いてください

ステップ4

各自の意見を紹介し、質問や意見を交換しましょう。似たような意見を整理し、そのひとまとまりに見出しをつけたり、そのまとまりと他のまとまりとの関係性などについて話し合いましょう。

ステップ5

ステップ4を基にして、話し合いながら、模造紙の各項目について記入しましょう。また、グループごとの発表の準備をしましょう。

ステップ6

グループごとに発表します

(模造紙レイアウト)

テーマ

前述であげたテーマから1つ選びましょう

- ・どんな子どもに育ててほしいですか？
- ・子どもの遊び場はどんな場所？
- ・孤立しない子育て環境(仲間づくり)って？
- ・子育て情報の入手・提供は？
- ・どんな制度や施設があるとよい？

今の西宮ってとってどんな状況？

(自由に)

子育て(子どもの目線)

参加者のそれぞれの感想を
自由にあげてください

子育て(親の目線)

こんな西宮になってほしい(想い)。その姿は？

(テーマに添って考えましょう)

その姿の実現のために私たちができること

(支援者側は？)

(家庭としては？)

私たちの行動で支援してほしいこと

「新制度について」

「子ども・子育て支援新制度」で進められる取り組み

1. 質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供

幼児期の学校教育・保育、地域での子育て支援を一体的に提供する「認定こども園」制度の改善を目指すこととされている。具体的には、「幼保連携型」「幼稚園型」「保育所型」「地方裁量型」の4種類ある認定こども園のうち、「幼保連携型認定こども園」を見直し、設置手続きの簡素化や財政支援の充実などによる普及を進めることとされている。

2. 地域の子ども・子育て支援の充実

地域における子育て支援に関するさまざまなニーズに応えることができるよう、「放課後児童クラブ（留守家庭児童育成センター）」、「一時預かり」、「延長保育」、「地域子育て支援拠点事業」、「妊婦検診」などの事業を充実させることとされている。また、子育て支援に関する相談の受付や施設・サービスの紹介、情報提供などを行う窓口を設置するなどの新たな取り組みによって、多様なメニューからニーズに合ったサービスを選択して利用できる仕組みづくりが目指されている。

3. 保育の量的拡大・確保

新制度のために、消費税率引き上げによる増収分のうち約0.7兆円の財源が充てられることとなっている。（幼児教育・保育・子育て支援の質・量の拡充を図るためには、上記0.7兆円を含めて1兆円超程度の追加財源が必要）「小規模保育」、「家庭的保育（保育ルーム）」などのさまざまな手法による保育を充実させたりすることにより、都市部の待機児童解消が目指されている。



子ども・子育て関連3法

平成24年8月10日、「子ども・子育て関連3法」が社会保障と税の一体改革関連法案の一つとして可決・成立し、平成27年4月から本格施行が予定されている。

子ども・子育て支援法

認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付や小規模保育等への給付を創設するとともに、地域の子ども・子育て支援の充実を図る。

認定こども園法の一部改正法

幼保連携型認定こども園について、単一の施設として認可・指導監督等を一体化したうえで、学校と児童福祉施設としての法的な位置づけを付与する。

子ども・子育て支援法及び認定こども園法の一部改正法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律

上記2法律の施行に伴う、児童福祉法における認可制度など関係法律の改正。

新制度施行に向けた取り組み

国の基本指針や各種基準を検討するために、内閣府に「子ども・子育て会議」が設置され、平成25年4月26日から順次、会議が開催。

西宮市でも、学識経験者や地域の子育て支援団体・事業者の方々などで構成される「西宮市子ども・子育て会議」を設置し、市内の子ども・子育てに係るニーズを把握したうえで、国の基本指針等を踏まえ、

教育・保育提供区域

幼児期の学校教育・保育の量、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

提供体制の確保の内容及びその実施時期

などを記載した「子ども・子育て支援事業計画」（5年計画）の策定準備を進めている。



保育の必要性の認定

- 1号認定子ども 3～5歳児、学校教育のみ
- 2号認定子ども 3～5歳保育（標準時間・短時間）
- 3号認定子ども 0～2歳保育（標準時間・短時間）

子どもための教育・保育給付

- ・施設型給付...認定こども園、幼稚園、保育所
現在、保育所等に対する財政措置として、保育所は保育所委託運営費、幼稚園は私学助成・幼稚園就園奨励、認定こども園には各園の型や状況に応じて運営に関する費用が支払われている。平成27年4月以降は保護者に対する市町村の施設型給付費という形での支給に原則統一される。
 - ・地域型保育給付...小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育
市町村による認可事業とし、質の確保を図りつつ、多様な施設や事業の中から利用者が選択できる仕組みを整備する。待機児童が都市部に集中していること及び待機児童の大半が3歳未満児であることから、都市部でも機動的に対応でき、かつ3歳未満児に重点を置いた小規模な保育施設を拡充することにより、待機児童問題の改善を図ろうという国の狙いがある。
- *施設型給付、地域型保育給付の利用者負担：すべての子どもに質の確保された学校教育・保育を保障するとの考え方を踏まえ、現行制度の利用者負担の水準、利用者負担の負担能力を勘案した応能負担を基本として定める。

地域子ども・子育て支援事業（13事業）

- 1号 利用者支援
- 2号 延長保育事業
- 3号 実費徴収に係る補足給付を行う事業
- 4号 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業
- 5号 放課後児童クラブ
- 6号 子育て短期支援事業
- 7号 乳児家庭全戸訪問事業
- 8号 養育支援訪問事業・その他要支援児童、要保護児童等の支援に資する事業
- 9号 地域子育て支援拠点事業
- 10号 一時預かり
- 11号 病児・病後児保育事業
- 12号 ファミリー・サポート・センター事業
- 13号 妊婦健康診査

